**令和４年度**

提出時には青字のコメント・例示・ガイドラインは削除してください。

**JST　研究成果展開事業大学発新産業創出プログラム（START）**

**スタートアップ・エコシステム形成支援**

**京阪神スタートアップ　アカデミア・コアリション**

**起業活動支援プログラム**

**研究開発課題申請書**

【１-a】研究代表者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | 　 | 所属 | [例]●●大学〇〇研究科 |
| 氏　　名 |  | 役職(課程/学年※) | 　 |
| 連絡先 | 電　話 |  |
| E-mail |  |
| ※代表者が大学院生の場合 | 指導教員の氏名 |  |
| 指導教員の所属・職名 | [例]●●大学〇〇研究科　教授 |

※研究代表者が大学院生（修士課程・博士課程）の場合は、指導教官の承認を得たうえで申込のこと。審査の結果、採択された場合は別紙「確認書」を提出いただきます。令和4年度が大学院の修了年度になる大学院生の場合、修了後課題を継続できる大学院生を研究開発の体制（下記【10】）に加えること。内容を事前に指導教官と確認のこと。

【１-b】事業化プロデューサー（設置する場合のみ記載）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | 　 | 所属 |  [例]株式会社●●研究開発部 |
| 氏　　名 |  | 役職 | 　 |
| 本研究課題における役割 |  |

【１-c】主たる共同研究者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | 　 | 所属 | [例]●●大学〇〇研究科 |
| 氏　　名 |  | 役職(課程/学年) | 　 |
| ※大学院生の場合 | 指導教員の氏名 |  |
| 指導教員の所属・職名 | [例]●●大学〇〇研究科　教授 |

※「研究代表者」の機関と「主たる共同研究者」の機関が異なり、それぞれが研究開発費を執行する場合（応募要領を参照のこと）は、実施内容や予算計画をそれぞれが作成する必要があります。「研究代表者」は申請書様式１に、異なる大学の「主たる共同研究者」は申請書様式２（主たる共同研究者用）に作成の上、研究代表者がとりまとめて提出ください。

【２】研究開発課題名

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |

【３】分野（最も当てはまると考えられるものをひとつ選択してください）

|  |
| --- |
| [ ] ライフサイエンス　　　[ ] ヘルスケア　　[ ] ものづくり　　[ ] 情報通信　　　[ ] アグリビジネス[ ] 人文社会系　　[ ] その他　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] |

【４】概要

研究開発課題（研究開発及びビジネスモデル）の概要が分かるように、**３００文字程度**で簡潔に記述してください。

【５】起業に向けた計画

どのようなベンチャー創出（起業）を目指すのか（規模感(ユニコーン、売上げ○○円)、地域密着、等）と、その起業の予定時期を明記して下さい。

【６】技術シーズの内容

１．発明（周辺特許を含む）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 発明の名称 | 出願番号・特許番号 | 発明者（全員記載のこと） | 出願人（全員記載のこと） |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  | ・特許がない場合には、「なし」と記載ください。・特許を保有していない場合は、3.にて、今後の知的財産権戦略等を記載してください。 |  |  |
| 3 |  |  |  |  |

２．内容・特徴

技術シーズの内容および特徴について、背景、現状の問題点、競合技術に対する独創性・新規性、これまで得られた研究成果等を適宜含めつつ、図表やデータも用いて記載してください。

３．企業とのアライアンスやライセンス契約等の状況、今後の知的財産戦略

・当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について記載してください。

・将来、当該技術シーズによるベンチャーを創出しようとした場合、技術シーズの発明者、技術シーズが帰属する機関等（共願人）の同意が得られているか、その他に関連する発明が無いか、などについて記載ください。

・今後の知的財産権戦略等を記載してください（特許を保有していない場合は必ず記載してください）

・研究代表者所属機関に加えて、他機関においても予算執行を実施する場合は、研究代表者が所属する研究機関で大学等発ベンチャーを目指すにあたり、他研究機関による知財等の問題がないこと、かつ、生じさせないことをご確認いただき、必ず記載してください。

【７】活動終了時点の目標

１．研究開発

項目に分けて成果目標（項目・定性・定量）を記載すること。

【見出し１】

【見出し２】

【見出し３】

・・・

２．ビジネスモデル

社会背景や市場ニーズと、研究成果を利用した実用化イメージを記載すること（マーケティング情報も含む）。

1)社会背景、市場ニーズ

2)実用化イメージ

【８】活動内容

　　１．研究開発

　　【７】の目標に対応して具体的な研究開発活動内容を記載すること

　　２．ビジネスモデル

　　ビジネスモデル実現に向けて、検討、活動する内容を記載する。調査なども含む。

【９】活動スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施内容 | 20229-10月 | 11月 | 12月 | 20231月 | 2月 | 3月 |
| 【見出し1】 |  |  |  |  |  |  |
| 【見出し２】 |  |  |  |  |  |  |
| 【見出し３】 |  |  |  |  |  |  |
| 　【７】【８】の項目と対応させる |  |  |  |  |  |  |
| 　　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

フォーマットは自由ですので、エクセルで作成した表をコピペ（Microsoft Excelワークシートオブジェクトとして貼り付け）するなどして作成して下さい。

【１０】研究開発の体制（研究代表者、事業化プロデューサー含む）

※「研究代表者」と「主たる共同研究者」は別々の参加者リストを作成して下さい。また参加者の重複記載は避けて下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 所　　　属　 | 役割、分担 |
| 機関・企業名 | 部局(部署) | 役職 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

【１１-a】委託研究開発費

※「研究代表者」と「主たる共同研究者」はそれぞれが予算計画を作成して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予算経費（直接経費のみ） | 提案予算額（千円） | 使途 |
| a.物品費 | 1,000 | 想定顧客アリングのための試作品部材 |
| 600 | 開発用資材（実験器具）・想定顧客提示向けの実験データ取得のため |
| 500 | 開発用部材（試薬、試料）・想定顧客提示向けの実験データ取得のため |
|  |  |
|  |  |
| b.旅費 | 50 | 京都⇔東京、1回、2名、想定顧客打ち合わせ |
| 10 | 京都⇔名古屋、1回、1名、想定顧客打ち合わせ |
|  |  |
|  |  |
| c.人件費・謝金 |  |  |
|  |  |
| d.その他 | 540 | （外注費）　XX計測技術調査 |
| 800  | （外注費）　XXの競合技術調査 |
| 800 | （外注費）　XXのデータ分析 |
| 200  | 想定顧客評価用試作品、輸送費 |
| 500 | 想定顧客評価用試作品、加工費 |
|  |  |
| 合計 | 　5000 | 　 |

（注意）

※「使途」欄は調達する物品・役務等の名称だけでなく、その調達が顧客ヒアリング、ビジネスモデルブラッシュアップ等の事業化に向けて必要な理由が分かるよう記載すること。

※事業化を目的としない基礎研究のための経費には使用しないこと。

※再委託は不可。外注費としては、研究開発要素を含まず、役務仕様が予め決まっており、作業のみを外注する請負契約のみが対象。

【１１-b】委託研究開発費（全体額）

※「主たる共同研究者」がいる場合のみ記入してください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予算経費（直接経費のみ） | 提案予算額（千円） | 全体額（Ａ＋Ｂ） |
| 研究代表者（Ａ） | 　5000 | 　　10000 |
| 主たる共同研究者（Ｂ） | 　5000 |

【１２】他制度での助成等の有無

科学研究費補助金等、国、独立行政法人（国立研究開発法人含む）が運用する競争的資金や、その他の研究助成等（国外のものを含む）、研究代表者が、現在、受給している国の競争的資金制度等について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割（代表/分担）、本人受給研究費、エフォートを記入してください。

※受給中の全課題について記載してください。その際、本プログラムで実施する内容と関連のない課題も記載してください。

※間接経費を含めた額を記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **受給中の制度名****（研究期間)** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **役割****(代表/****分担)** | **2022年度の****本人受給研究費****（期間全体の研究費）** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** | **本プログラムでの取り組みとの切り分け** |
| 例 | 科学研究費補助金基礎研究(S)（2017.9-2022.3） | ××による◇◇の創成(○○○○) | 代表 | 25,000千円（100,000千円） | 30 |  |
| 1 |  |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |

　過去3年間で受給したことのあるGAP関連資金制度があれば、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割（代表/分担）、本人受給研究費、エフォートを記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **過去3年間に受給したGAPに類する制度名****（研究期間)** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **役割****(代表/****分担)** | **過去3年間の****本人受給研究費****（期間全体の研究費）** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** | **本プログラムでの取り組みによる事業化の進展** |
| 例 | SCORE拠点都市環境整備型（2021.9-2022.3） | ××による◇◇の創成(○○○○) | 代表 | 10,000千円（10,000千円） | 30 |  |
| 1 |  |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |

【１３】情報の共有について

　申請課題について、申請者が所属する大学の関連VC（ベンチャー・キャピタル）等に採択の可否に関わらず申請書の記載内容を情報共有する場合があります。承諾の可否について、下記のいずれかにチェックしてください。

[ ] 　承諾する

[ ] 　承諾しない